

生産拡大 所得増大 収量、品質とも前年下回る
～豪雨の影響受ける～

JA野菜振興会ながいも専門部会は10月15日、十和田農業技術センターで秋掘りの最終試し掘り調査をしました。調査の結果、10㍏収量やA・B品率とも前年を下回ると見えています。収穫は11月中旬から始まる予定で、JAでは適期収穫を呼びかけています。

生産農家20戸の畑24カ所を調査。畑から5本連続で手掘りし、全長、イモ長、全重など7項目を調べました。収量減と品質低下の原因について、指導やさい部は「7、9月に襲った数回のゲリラ豪雨で、肥料切れ、穴落ちなどが生育に影響した」と話しています。



▲ナガイモの長さ、重さ、形状をチェック



▶試し掘りをする振興会役員

生産拡大 所得増大 食味と栄養価の向上で
商品価値高める
～寒締め小松菜・ほうれん草栽培講習会～

本店で10月20日、寒締め小松菜・ほうれん草の栽培講習会を開きました。生産者ら11人は寒締めまでの温度管理やかん水量、収穫時の注意点を学びました。

寒締め小松菜は冬の寒さを利用して作物が低温から自分の体を守るため、糖分やビタミンなどを増加させる生態を利用したもので、食味と栄養価の向上で商品価値を高めています。講習会で高瀬範顕指導課長は「芽がでるまでの温度管理が重要。生育をみながら寒締めを進め、良品出荷をめざそう」と呼びかけました。



▲栽培管理を学ぶ参加農家

生産拡大 所得増大 学び、考え、ミネラル野菜PR
～収穫祭に新人ブース～

当JAに今春採用の新人職員10人が10月17、18の両日、JA収穫祭でブランド野菜「十和田おいらせミネラル野菜(TOM-VEGE)」をPRしました。

例年であれば、試食販売で美味しさをアピールしてきましたが、今回は「TOM-VEGEスタンプラリー」に変更。ラリー用紙にはブランドの特徴や旬のレシピを付け、新人ブースではナガイモ、ゴボウ、長ネギなどの栄養価やおいしさを掲示しました。

新人チームをまとめたリーダーの林佳奈さんは「お客さんに何をどう伝えればよいか、考えるきっかけになった」と話していました。



▲来場者にブランド野菜を紹介する新人職員

NEWS & TOPIC 地域の話

「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化(地域貢献)」に向け、JA十和田おいらせは「創造的JA自己改革」の取り組みを実践中です。

生産拡大 所得増大 ニンニク種子安価に
～来年供給分を増殖～

JAが管理するほ場で9月下旬から10月中旬にかけて、ニンニク種子の植え付けを行いました。令和3年秋の供給分で、農家には30万球の配布を計画しています。

ニンニク種子の生産ほ場は十和田地区と七戸・上北の2支店管内に合計3畝あります。JAが原種を購入し、1年かけ増殖してから農家へ供給。農家が購入する種子価格は、原種に比べ3分の1で済むことも種子更新をしやすくしています。

指導やさい部の馬場義満部長は「優良種子の確保・供給と併せ、労働力不足を補うため国やJA独自の対策事業により機械導入を支援し、生産者の所得増大と産地の維持、拡大を目指したい」と話しています。



▲ニンニク種子を植え付けるJA職員

生産拡大 所得増大 ニンジン収穫始まる
～前作の高単価で作付け増～

ももいし、上北の2支店管内で10月中旬、秋ニンジンの収穫が始まりました。日照不足でやや小ぶりですが作柄は良好。作付面積が前年に比べて4畝増えたため、JAでは共同選果場の稼働を2カ所に増やし、鮮度や品質重視の良品出荷に努めています。

秋から冬にかけてのニンジンは昼夜の寒暖差により、甘さとコクがあり食味が良いのが特徴です。指導やさい部は「内食需要が伸びる中、味と品質重視で消費地へ届け、リピーターを増やしたい」と話しています。



▲選別する施設作業員

生産拡大 所得増大 キャベツ出荷盛ん
～収穫11月中旬まで続く～

ももいし支店管内で10月中旬、キャベツの市場出荷が盛んに行われました。6月末から始まった収穫は11月中旬まで続き、青森県内ほか、東北・京浜地方の青果市場へ同月15日現在、日量1,500～2,000ケース(10㍏)出荷しています。

おいらせ町一川目で2畝に作付けする工藤正志さんは10月15日、軽トラックに積み込みしたキャベツを野菜センターへ搬入。工藤さんは「夏場は干ばつ気味だったが、雨も適度に降り生育は順調」と話しています。



▲キャベツを搬入する生産者の工藤さん

地域活性 三沢商業高文化祭にニンニクパウダー提供
～特産作る人材育成へ～

10月2、3の両日に開かれた県立三沢商業高校の文化祭「三商祭」にJAオリジナルの「プレミアムにんにくパウダー(80g)」を3個無償提供しました。ご当地唐揚げの開発に取り組む商業科3年生の7人グループ「空自上空(からあげ)班」が油で揚げたパンの耳にパウダーを振りかけて販売し、人気を集めました。

グループリーダーの石田真愛さん(18)は「地元にはおいしい特産品が多くある。より多くの人に食べてもらえるよう、今後も商品開発に取り組む」と意気込んでいました。



▲パンの耳に「プレミアムにんにくパウダー」をかける生徒

地域活性 おいしさに太鼓判！
～青い森紅(くれない)サーモンを試食～

青森県が開発した「青い森紅(くれない)サーモン」の販売を前に10月29日、畠山一男組合長ら常勤役員らが試食し、おいしさを確かめました。

十和田市の(地独)青森県産業技術センター内水面研究所が15年かけて開発。平成の名水100選に選ばれた沼袋の湧き水で同市の養殖業社が3年ほど飼育し、おいしさを追究しています。

当JAは試験段階で、ニンニクパウダーの提供などで協力しました。畠山組合長は「プリっとして、ほどよい脂で臭みが少ない。甘みと旨みの強さを多くの人に味わってもらいたい」と話しました。



▲「青い森紅サーモン」を試食する畠山組合長ら常勤役員

地域活性 元気にハッスルプレー
～JA年金友の会
グラウンドゴルフ大会～

JA年金友の会は10月22日、七戸運動公園でグラウンドゴルフ大会を開き、49人の会員が参加しました。男女1位のプレーオフにより、総合優勝には秋元みつゑさん(本店)が輝きました。男性の部の優勝者は中野晶さん(上北)でした。

参加者最年長の小川堅一さん(95)は「健康の秘訣は年に一度のグラウンドゴルフ大会。結果も大切だが、仲間と楽しむことを一番にプレーしたい」と笑顔を見せていました。



▲ハッスルプレーでゲームを楽しむ参加者

生産拡大 所得増大 生産農家TVリモート生出演
～顔や産地の見える安全安心な野菜をPR～

十和田市でネギやニンニクを栽培する平館龍徳さん(37)が10月19日、テレビ埼玉の生放送番組「おいしさ まるごとマイスター」にリモート出演し、ブランドネギ「ぼけしらず」をPRしました。首都圏での宣伝活動が制限される中、今後は生産者の顔や産地が見える宣伝で、ブランド野菜「TOM-VEGE(トムベジ)」をPRしていきます。

平館さんは「作柄は人柄、良い風土は良いフード(FOOD)を作る」の言葉を忘れずに日々栽培している。作物に加え、今後は地域の良さもアピールしていきたい」と話しています。

※地域じまんで「ぼけしらず」レシピを紹介



▲リハーサルをする生産者の平館さん

地域活性 上北小5年生が「紫黒米」収穫
～実りの秋実感～

東北町立上北小学校の5年生約60人が10月19日、町内の学校田で「紫黒米(しこくまい)」の刈り取りを行い、実りの秋を実感していました。

児童たちは同町の「八甲田黒米栽培研究会」(蛭名勲代表)の指導を受け5月下旬、約10㍍の水田に苗を植えていました。

当JAは、「JA共済地域貢献活動」の一環として、水田の管理費や種苗代など助成し、同校の米作りを支援。この日は、JA職員、青年部上北支部のメンバーら4人が鎌の使い方を教えていました。

同校では12月、収穫した紫黒米を使った餅つきを行う予定です。



▲稲の束ね方を教わる児童

生産拡大 所得増大 Web会議用システム
環境整備
～高画質、高音質で鮮明な
情報発信へ～

当JAは10月下旬、Web会議用のシステム環境を整えました。大型テレビに超広角ワイドレンズカメラとスピーカーを付け、より鮮明な画質と音声での配信が可能となりました。今後は農畜産物の商談や食農教育など汎用性を高めていきます。

10月21日に行った、香川県高松市の小学3年生とのリモート授業では、県産ニンニクの特徴や産地の取り組み、農家の栽培の工夫などを伝えました。対応した指導やさい部の縄田尚伸係長は「現物を鮮明に伝えることができる。顔の表情で理解しているのかわかるので進めやすい」と話していました。



▲ニンニクの形状などを説明する縄田係長

総務部 **11/1(日)から営業時間を変更になりました。**
営業時間 8:30~16:30
期間 令和3年3月31日まで

経済部 **家の光 2020年12月号**
<特集1>
免疫力を高めよう!「食べる腸活」のススメ
<特集2>
キレイを磨く 美活おせち
第1別冊 2021年 家の光家計簿 日記付き
 暮らしを築き、農業収入アップにも役立つ
第2別冊 未来のこす わたしノート2021
 終活や相続の準備にも活用できる家の光
 「エンディングノート」

2020年11月1日発行 定価/別冊付録とも1027円(税込み)
 ※企画・タイトルは変更することがあります。
 ご注文・お問合せはお近くのJA購買窓口まで

理事会だより (第7回:10月29日)

議事

▶令和2年産ながいも仮渡金および前渡金を承認する

仮渡金	入庫1サンテナ当たり	2,500円(上限)
	スチールコンテナ1基当たり	50,000円
前渡金	入庫予定1サンテナ当たり	2,000円(上限)
	スチールコンテナ1基当たり	40,000円

※11月上旬より支払い
 市況価格の変動に伴う単価変更は組合長に一任する。 ーほか

報告事項

▶内部監査の結果について
 ▶経営管理強化に向けた取り組み結果について
 ▶令和2年度担い手パワーアップ・アクション実績報告について ーほか

監事会だより (第7回:10月29日)
 場所:本店2階 常勤監事室

議案第1号
 ▶令和2年度上半期棚卸監査の結果について ーほか

編集者の **日和日記**

11月に入り、朝夕の寒さが増してきました。通勤途中に見る八甲田山の頂きにも雪が見え始め、自家用車のタイヤ交換など、冬支度を始めなければと思っています。

コロナ禍で、今後は風邪やインフルエンザなど、季節性の感染症対策も重要になってきます。「1、病原体を付けない」「2、室内の換気・加湿を心がける」「3、免疫力を高める」「4、予防接種」が肝心とのこと。感染症に関する知識をしっかりと身につけ、感染を未然に防ぎましょう。T

上十三地区家畜衛生推進協議会よりお知らせ
畜産講習会開催

開催日時: 令和2年12月15日(火)
 13:00~15:00
開催場所: 本店3階ホール

演題
 「牛群管理プログラムのデータから見た牛の繁殖特性」

講師
 北里大学獣医学部 獣医臨床繁殖学研究室
 三浦 弘 先生

問合先: 上十三地区家畜衛生推進協議会
TEL:0176-25-2362 FAX:0176-24-3888
 (担当:関川) ※参加無料(事前申込必要)
 ※受講者は120名までとします。

Go To トラベル 1月29日~2月1日
 お得に安心の国内旅行を楽しんで、日本を元気に!

JTA 日本トランスオーシャン航空チャーター機で行く!
沖縄 石垣島・宮古島 4日間
 鳩間島・西表島・由布島・池間島・東間島

■お支払い実額(おひとり様)

158,000円

Go Toトラベルキャンペーンで、旅行代金200,000円から、なんと**42,000円**が支援されます!さらに、別途**18,000円**の地域共通クーポンが付与されます!

新型コロナウイルス 感染予防対策 を徹底し 安全・安心な旅行をご用意します。

詳しくは...
 JA十和田おいらせ旅行センター
TEL.0176-23-0374 まで

総務部 **人事異動(令和2年10月19日付)**

企画部 企画部長
沼岡 基晴 (旧任:企画部 企画部長兼直売課長)
 企画部 直売課 課長(昇格)
川村 俊一 (旧任:指導やさい部 指導課 課長補佐)
 企画部 直売課 課長補佐(昇格)
富岡 寿紀 (旧任:企画部 直売課 係長)

〈令和2年10月22日付〉
 企画部 直売課
石井 節子 (旧任:三本木事業所 営農経済課)
 三本木事業所 営農経済課(准職員)
加賀沢 和子 (旧任:三本木事業所 営農経済課 切田経済センター)

子会社通信

(株)協同サービス 主な事業内容 葬祭業、生花部(フラワーハウスあぐり鮎)、酒類販売部(酒の藤坂店) 十和田地域広域畜産指定管理

◎新葬祭ホール「まごころホールおいらせ下田」の会場見学 受け付け中!

令和2年9月にオープンした新葬祭ホール「まごころホールおいらせ下田」では、会場見学を受け付けています。あわせて、「まごころの会」のお申込みも承っております。お気軽にお立ち寄り下さい。



おいらせ町馳下り14-1(おいらせ町役場向い)

会場開放時間 10:00~15:00
 ※葬儀施行の際は見学をご遠慮いただく場合がございます。

まごころの会 会員募集中
 5000円のご入会金で様々な葬祭特典をうけられます。

- 主な特典**
- ①会場使用料無料 ②祭壇使用料10%引
 - ③宿泊施設の利用料割引
 - ④花環・生花・盛籠の割引
 - ⑤仏具など10%引 その他

お問い合わせは
 協同サービス **TEL:0176-21-1500** まで。

㈱エコノ/十和田・おいらせガスセンター 主な事業内容 生産資材の卸、燃料事業、農機具・自動車販売・修理 福祉事業、宴会・会食事業 など

◎Rinnai ガス衣類乾燥機「乾太くん」特別価格!3大特典付き!!

ガスのチカラでパワフル乾燥!おひさまに干したようなふかふかの仕上が。嬉しい除菌効果も。



- 特典 その1 室内専用台** **特典 その2 排湿管セット** **すべてコミコミ!**
特典 その3 設置のための標準工事費 **139,000円(消費税込)**

他にもガスコンロ・給湯器・ガス器具・ストーブなどの設置・交換・修理・点検など、気軽にご相談ください。
 お問い合わせ...十和田ガスセンター **TEL.0176-25-2670** おいらせガスセンター **TEL.0178-50-1150**

JAグループの子会社は、JAが100%出資し、専門的業務を行っています。

米穀畜産部

10月 県家畜市場子牛販売成績(黒毛和種) / 開催日:令和2年10月9日

種雄牛	雌			去勢			地区	雌			去勢				
	販売金額(千円)	頭数	平均価格(円)	販売金額(千円)	頭数	平均価格(円)		頭数	平均価格(円)	頭数	平均価格(円)	頭数	平均価格(円)		
第1花園	12	706	558	13	890	710	十和田地区	55	548	289	309	80	680	332	301
勝早桜5	8	809	582	7	950	810	十和田湖地区	12	645	306	307	18	654	326	303
幸紀雄	4	604	580	9	934	742	むつ地区	9	551	310	318	20	728	343	305
美国桜	3	691	687	9	832	695	青森県全体	163	545	292	310	257	667	331	301
福之姫	8	716	562	4	704	676									
計	35			42											

1種雄牛上場 上位5頭を記載/JA取り扱い分

12月市場開催日 / 令和2年12月11日(金)

重要なお知らせ
 上場牛のワクチン接種形式が変わります。令和2年4月1日より上場する黒毛和種子牛は、「5種混合生ワクチンを2回、牛ヘモフィルスワクチンを2回接種しなければなりません。」と変更になりました。